



## 警備業の魅力と私のひとこと

Number

31

昨年4月に新卒入社し、機械警備業務に従事して間もない郡山菜緒さんに、警備業を選んだ理由、警備の仕事の魅力と難しさ、仕事への思いや将来の目標などについてお話を伺いました。



こおりやま なお  
郡山 菜緒 さん 24歳  
鹿児島総合警備保障株式会社(鹿児島県)  
南営業所

日々の成長を実感。

夢は女性警備員の活躍領域の拡大・確立。

## 私が警備業を選んだ理由

昨年4月に総合職で新卒入社しました。9か月に及ぶ研修の後、機械警備業務の機動隊に配属され、以来、ガードセンター(指令室)からの指示の下、現場対応に当たっています。

配属先の第一希望はガードセンターでしたが、指令員として適切な指示を行うには、まずは現場を経験することが重要かつ不可欠であるとのことでした。今はその意味がよく分かり、適切な現場対応の在り方を先輩隊員から貪欲に学びたいと考えています。毎日が新しいことの発見と勉強の日々です。

就職先として警備業に着目したきっかけは、学生時代にアルバイトをした飲食店やテレビ局のビルで、常駐警備や機械警備に従事する警備員の方々に間近に見て、その毅然とした制服姿やきびきびとした動きが、実に格好良く私の目に映ったことです。いつしか「私もあの仕事に就きたい。あの人たちと一緒に働きたい」と考えるようになりました。私の目に映った警備員の方々が

勤務する警備会社は今、私が勤める会社になりました。

## 警備の仕事の魅力と難しさ

先輩隊員から現場で学んだことの一つに「機動隊員は当たり前を当たり前と思わず、常に油断することなく警戒心を持ってお客様の安全を第一に考えて行動し、業務を遂行する」があります。これを常に念頭に置いて、現場対応に当たるよう努めています。

しかし、一つとして同じ現場はなく、都度、異なる対応が求められます。適切な対応の在り方とは、それこそ現場の数だけあるということです。ここが機動隊員の仕事の一番の難しさだと思います。現場における異常の発見と最適な対応には、現場経験を積み重ね、経験値を高めていく以外に鍛錬の方法はありません。

私の今の一番の目標は、その経験値を高めること。今日はできなくても明日はできると信じ、自己の能力向上に向けて全力で挑戦していきたいと思っ

ています。自分で限界をつくることだけは絶対にしたくありません。

現場では、まだ自身の未熟な部分だけが目立ちますが、それでもお客様の「あなたたちが来てくれて本当に安心できた」という言葉と笑顔には心から嬉しくなります。自分の住んでいる街全体を守っているということが、警備の仕事の一番のやりがいだと感じます。

## 今後の夢と目標

機動隊員として日々少しずつできることが増え、一步一步成長できているという実感があります。男性のイメージが強い警備業ですが「女性警備員が活躍できる領域をもっと広げたい、確立したい」という将来の夢の実現に向けて、まずは私自身が格好良い女性警備員になって活躍することが今の目標です。活躍する女性警備員の姿を多くの方が日常的に目にする中で、警備業に着目する女性が増えるものと確信しています。